



写真左はハードメープル材、右はウォールナット材



ゆるやかな弧を描く
笠木とアームが、
くつろぎを約束する。

どんなもたれ方をしても、ゆったりと体を支えてくれるのは、弧(=アルコ)が人の体のラインに基づいた3次元曲面で構成されているから。笠木からアームにかけての美しく流れるような曲面は、職人の優れた感性と技があるからこそ可能となった造形です。

大きくゆるやかな弧(=アルコ)を描く笠木とアームが、「ARCO II」の特徴のひとつ。その3次元曲面の美しい造形、曲木では表現できない木自体の美しさは、職人の高度な木組みの技術と削り出しによって実現したもの。優れた構造はそれが自分が装飾になるという事実を、この椅子は雄弁に物語っています。

均整のとれた彫刻のようなフォルム。それは、板座という概念を超えた理想の座り心地と機能美を求めて、最善を模索し続ける職人たちのこだわりが生み出した、進化の形です。さらに、置き場所を選ばない「バクト」なサイズも、この椅子の大きな魅力。適度な高さに抑えられた笠木は、压迫感を与えることなく、室内をより広く感じさせる効果もあります。

アームチェア アルコ II

ARMCHAIR ARCO II

DESIGN; SADAQ AIDA



SIZE : W595 D540 H720 SH410 AH665
TYPE SELECT : 番目／板目

アームの途中から、少し下に絞り出すようにして削り出された「持ち出し」部分と後ろ脚を深く接合することにより、椅子に確かな強度を生み出しています。さらに、表面を「さすり仕上げ」することで、滑らかで有機的なアートラインを作り出しています。

理想の座り心地と機能美を実現する、伝統の木組みの技。